

兵庫県立明石清水高等学校部活動方針

県立明石清水高等学校は、「文武両道を実践し、生涯にわたって夢や志の実現に、たくましく努力することができる生徒を育成する」という教育目標のもと、学校教育の一環として以下の通り部活動を行う。

1 全般的な方針

「生徒の自主的、自発的な参加により行われ」「スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資する」という部活動の基本的なあり方を踏まえ、教育課程との関連に留意しつつ、学校や地域の実態、各部活動の特性等に応じ、地域の人々の協力や各種団体との連携などの運営上の工夫を行いながら、持続可能な運営体制を整える。

また、活動にあたっては、部活動顧問の指導のもと、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図るとともに生徒自身が活動を通して自己肯定感を高められるよう留意する。

2 具体的な方針

(1) バランスのとれた生活

各部活動で計画的にスケジュールや練習内容、休養日（「ノー部活デー」等）を設定するなど、他の学校生活とのバランスに留意する。

《参考指標》

- 休養日の設定：学期中は週当たり2日程度（平日1日、休業日1日）
- 1日の活動時間：平日2時間程度、休業日3時間程度

(2) 指導の充実

合理的でかつ効率的・効果的な活動となるよう、①生徒の心身の健康管理、②事故防止、③体罰・ハラスメントの根絶を徹底し、科学的で対話を重視した指導を行う。

《参考指標》

- 生徒の自主性、個性を尊重し、コミュニケーションを重視した指導
- 社会通念や医・科学的見地から心身にかかる負荷を適切に設定
- 人格を損なうまたは否定するような言動や体罰を用いた指導の防止

(3) 安全・安心な部活動

生徒一人一人に安全に関する知識や技能を身につけさせるとともに、顧問の適切な健康観察や安全配慮により熱中症をはじめとした事故発生を防止する。

《参考指標》

- WBGT測定器の活用等により気温・湿度を的確に把握し、熱中症を防止
- 重大事故発生時に備え、全職員が心肺蘇生法やAED使用法を習得

(4) 開かれた部活動

複数の顧問が、他の部活動の顧問、担任や養護教諭等と連携を図り、家庭、地域との協働・融合のもと開かれた活動となるよう配慮する。

《参考指標》

- 生徒の実態や家庭、地域の状況に応じて部活動指導員や外部指導者を活用
- 保護者との話し合いの場などを通じ、家庭との連絡を密に意思疎通

(5) 持続可能な部活動

生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフ、文化芸術活動を実現できる基盤として、本校の部活動を持続可能なものとするため、上記(1)～(4)に照らし部活動の在り方を検討し、改善に努める。

《参考指標》

- 少子化の進展を視野に、統廃合や地域単位での共同運営など体制を再構築

【参考資料】

- 教職員・研修資料(4訂版)「いきいき運動部活動」(H30.9 県教委)
- 文化部活動の在り方に関する方針(H31.3 県教委)
- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(H30.3 スポーツ庁)